

プラアルマップ

「プラアルマップ」とは、学生の皆さんが、
本学でプラス・アルファなことにチャレンジする際のガイドマップのことです。

「プラ」っとした気持ちで、
何か自分にできること「アル?」という感じで立ち寄ってみてください。

プラアル スタート

- ① 学校ボランティアに興味がある
- ② もう一つ教員免許を取得したい
- ③ 地域連携や学生主体の活動に参加したい
- ④ 理系教科に興味がある
- ⑤ 得意分野をつくりたい



次世代の教員は多彩な力と経験が必要です。
あなたは何にチャレンジする?

1 プラスP (Practice) チャレンジ

「プラスPチャレンジ」とは、学校での実践経験を積み、実践力をアップしようという取り組みです。必修科目の中に多くの実地教育科目が含まれていますが、「公立学校インターンシップ」や公立学校等教育実習（オプション実習）などの選択科目もあり、教育実習を終えた学生が、さらに積み上げの教育実習やインターンシップに参加できます。また、教職キャリア高度化センターのボランティアオフィスに登録して、学校からの要請に応じて「学校ボランティア」として、多様な教育活動の補助等として活動をすることができます。附属学校での教育実習や大学の授業だけでは関わるることができない貴重な経験を積むことができますでしょう。

主免実習を附属学校で行いましたが、公立学校の子どもの様子を見られる良い機会だと思い公立学校インターンシップを受講しました。授業の観察や机間指導に加え、職員室での先生の様子や職員会議・学校行事の運営補助など、教育実習では知り得なかった教員の業務に触れることが出来ました。また、実習の経験も活かして子どもたちと積極的にコミュニケーションをとることができ、とても充実したものとなりました。

国語領域専攻3回生 田中大輝



2 プラスL (License) チャレンジ

「プラスLチャレンジ」とは、義務教育を中心とした複数の教員免許を取得することによって、教員として対応能力の幅を広げる取り組みです。接続する校種の教員免許を取得することは、子どもの発達段階を見通した指導に役立つだけでなく、小学校での教科担任制や義務教育学校などでも活躍できます。特別支援教育の免許は、特別支援学校での勤務だけでなく、支援の必要な児童生徒の教育に携わる時の強い力になります。小学校では英語の免許を持った教員が強く求められていますし、他教科の免許も有効です。複数免許の取得によって教員としてのキャパシティを拡大することは、教員養成大学に在学中だからこそ可能なチャレンジです。



私は卒業要件である小学校・中高国語1種に加えて、幼稚園2種、中学校社会・高校地歴・高校公民1種の教員免許を取得しました。小学校における教科担任制や幼小連携に対応できるように、また、教員を志すうえで教養のある人間になりたいという思いから挑戦しました。この挑戦を経て、自分にしかない強みを増やすことができたと感じています。

国語領域専攻4回生 山本惟織

3 プラスA (Activity) チャレンジ

「プラスAチャレンジ」とは、学生のみなさんの自律的で協働的な活動を推進する取り組みです。めまぐるしく変化し、新たな課題が次々と出現する現代社会では、新しい発想や創造力を活かして、多様な仲間と協働的に活動する能力がますます必要になっています。このような力は、自ら経験して乗り越えていくことでしか身につけません。本学は、学生の独創的で創造力ゆたかな研究活動を奨励する学生支援研究プログラム（e-Project）をはじめ、ピアサポートや運動部活動指導者育成など、教育課程外の大小様々な学生の活動を推奨し支援しています。

e-Project@kyokyo

帰国渡日児童生徒つながる会では海外にルーツを持つ子どもたちへの支援を行っています。海外から日本に来た子どもたちは言語、文化、価値観などの違いから多様な悩みを抱えています。つながる会ではこのような悩みや不安に寄り添い、居場所のつなぎを作るべく、海外にルーツを持つ小中学生を対象に勉強会やレクリエーションを企画し、活動を行っています。

美術領域専攻3回生 坂本歩美



文化会

文化会会長を続けさせていただく中で、コロナ禍とコロナ禍明けという非常に状況が複雑な中で文化会全体の活動方針を考えることができました。未だすべてがコロナ禍前のように行えるわけではなく、現在も各団体の代表や文化会本部との協議を何度も重ね、チーム一丸となって文化会を運営しています。マネジメントの難しさもありますが、すべての経験が自分の成長へとつながっています。

教育学専攻3回生 尾藤瑠偉

体育・スポーツ指導力養成プログラム

これまで体育やスポーツの指導を受ける側でしたが、教員を目指すにあたり、「子どもたちの能力を生かすにはどのような指導をすればよいのか」という興味から、このプログラムを受講しました。講義では、実践で役立つことをたくさん学び、インターンでは、実際に子どもたちと関わる中で、指導の難しさなどに悩みながらも、ここでしかできない経験ができたと思います。

幼児教育専攻2回生 後藤結美



プラスチャレンジ



体育・スポーツ
指導力
養成プログラム



e-Project

4 リケプロ教員養成

「リケプロ」とは、小・中・高等学校の理系教科指導に関する講義を受講することによって、理系教科の指導力を向上させる取り組みです。理系教科の指導力向上は、児童生徒の理系教科の学力向上につながるもので、一定の基準をクリアすれば、小学校の理系教科指導に強い「理系教育ジェネラリスト」中・高等学校の理系教科指導に強い「理系教育スペシャリスト」に認定されます。そのほかにも、本学の教職員が科学の魅力をオムニバス式に伝える「先生になりたい それはかなう夢」講座や、3分程度の理系教科指導用デジタルコンテンツを学生が開発し、本学公式YouTubeサイトにアップするなどの取り組みにも参加することができます。

入学以降、教職に就くことを目指すと共に、理系教育スペシャリストを取得したいという強い思いをもって勉学に励んできました。そして、4年間の学びを通して、中学校技術科に関する指導法や知識、技能を身につけるとともに、その他の幅広い分野を学ぶことができました。取得するのは容易ではなかったので非常に苦労しましたが、自身の知識や技能を広げるだけでなく、採用試験や教育実習などの幅広い場面に活用することができました。

技術領域専攻4回生 飯田彩奈



理系教員養成
プログラム

5 得意分野パッケージ

本学では、各自の履修目的や意欲により選択することができる「得意分野パッケージ」科目を設定しています。現在、4つのパッケージ（下表）が設置されています。いずれも、将来、教職に就いたときに役立つ内容となっていますので、各自の興味・関心も含めた履修目的に応じ、主体的に履修することを奨めています。なお、パッケージごとの、「パッケージ履修証明書発行要件」を満たした場合は、申し出により、「得意分野パッケージ科目履修証明書」の交付を受けることができます（在学中も可能です）。

パッケージ名称	パッケージ概要
外国人児童生徒等教育	在住外国人の増加に伴い、学校現場でも多様な言語文化背景をもつ子どもに対する対応が重要な課題となっている。本パッケージは外国人児童生徒等の指導について、日本語指導、文化適応、キャリア教育等、幅広い視点から求められる専門性を養成する。
発達障害の教育	特別支援教育は、インクルーシブ教育システムの構築を目指して、幼稚園から高等学校までの全ての学校種で専門性が求められる。本パッケージは、発達障害のある幼児児童生徒の理解と対応方法に対する基礎的な知識や技能を身につけることを目的としている。
幼児教育	質の高い幼児教育は、子どものその後の成長を支える重要なものであることが研究上明らかになり、世界的に注目を浴びている。我が国においても幼児教育の無償化など、幼児教育は重点政策課題に位置付くようになった。本パッケージは、今後の幼小接続教育等において活躍できる教員の養成に向けて、幼児教育に関する基礎的な知識を身につけ、質の高い幼児教育の重要性を理解することを目的とする。
グローバル教員育成	本パッケージは、グローバル（Global）な視点を持ちながら、地域（Local）の特色を大切にして、学校現場で教育にたずさわり、教育のグローバル化に向き合い実践できる教員の育成に向けて、求められる基礎的な資質能力を学ぶことを目的としている。

■ プラアルマップに関することは、学生課2番窓口まで